

第62回 水道週間

児童生徒作品展
入賞作品集

会津若松市

第62回水道週間児童生徒作品展入賞作品集

令和2年8月発行

発行 会津若松市上下水道局

編集 上下水道局経営企画課

〒965-0064 福島県会津若松市神指町大字黒川字石上33-2

TEL (0242) 23-7227 / FAX (0242) 22-6173

<https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/bunya/suido/>

第62回水道週間児童生徒作品展入賞作品集

【図画の部】

・小学校低学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）……………1
・小学校高学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）……………4
・中学校（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）……………7

【書写の部】

小学校低学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）……10

小学校高学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）……11

中学（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）……13

【標語の部】

・小学校低学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）……	15
・小学校高学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）……	16
・中学校（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）……	17

【作文の部】

・小学校低学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）……	18
・小学校高学年（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）……	25
・中学校（市長賞・市議会議長賞・教育長賞・管工事協同組合理事長賞・上下水道事業管理者賞）……	36

◆ 審査員

○図画の部：会津若松市立城北小学校

会津若松市立河東学園中学校 山口 功 先生

水彩連盟会津

○書写の部：会津若松市立河東学園小学校

会津若松市立一箕中学校 小坂 ひろみ 先生

会津書作家協会

○標語の部：会津若松市立神指小学校

川井 美穂子 先生

あいづ川柳会

会津詩人協会

○作文の部：会津若松市立松長小学校

会津若松市立第二中学校 佐瀬 裕子 先生

会津史学会

◆入賞者表彰式

日時 令和2年8月25日（火）午後4時から
場所 会津若松市文化センター

★おわりに★

ここに掲載されている作品は、上下水道局のホームページでもご覧いただけます。

他に、優秀賞（各5点）、佳作（各10点）も含めた全ての入賞作品が全国展に送られ、審査されます。

みなさんからのたくさんのご応募、ありがとうございます。
来年も多くの作品をお待ちしております。

【図画の部】

〈小学校低学年〉



〔市長賞〕 会津若松市立謹教小学校 3年 坂本 修吾



〔議長賞〕 会津若松市立門田小学校 1年 長谷川 楓



〔教育長賞〕 会津若松市立城西小学校 1年 緑川 鈴芭



〔理事長賞〕 会津若松市立湊小学校 2年 五十嵐 天惺



〔管理者賞〕 会津若松市立謹教小学校 2年 佐々木 星花

■ 審査講評

子どもたちは水がとっても好きです。水たまりがあると入ってみます。はねると「キャーッ!」とさわぎます。ホースの先から水を飛ばしてかけっこしたり、プールで大はしゃぎしたり、楽しい思い出がたくさんできます。水は心の底でしっかりとつながっているんですね。

今年も水と遊んだ「よろこび」や「おどろき」、そして学年が上がるに連れて「水はわたしたちの暮らしにどう役立っているのだろうと考えたこと」をのびのびと力強く、素直に描いた作品がたくさんありました。これから感じたこと、思ったことを、友だちのまねをしないでどんどん描いてください。

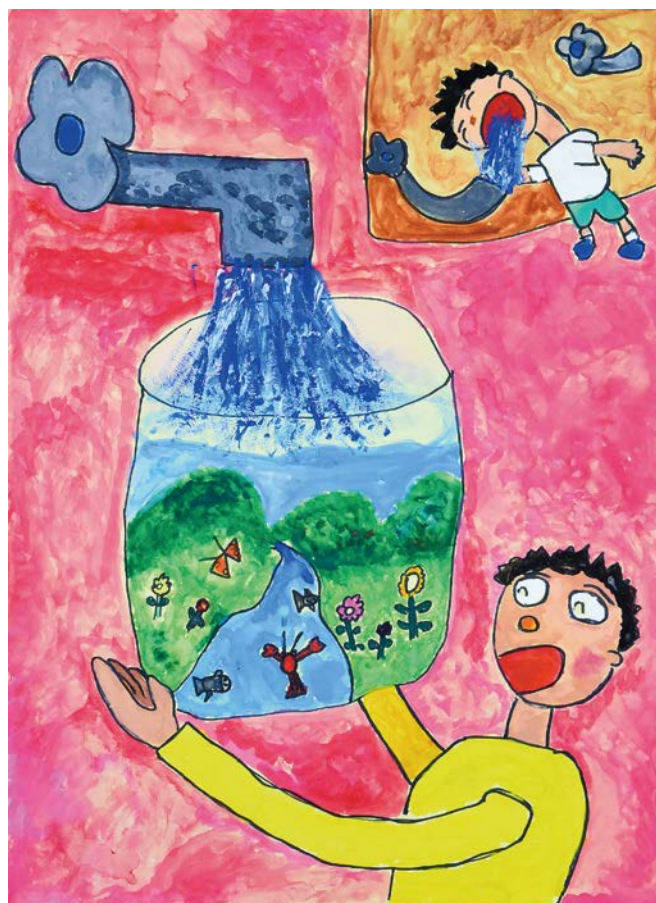
クレヨンやパスだけでなく、紙に描ける色んな材料があります。描き方もたくさんあります。いろいろやってみてください。そうすると、もともと楽しいことやおどろきが広がっていき、美しいものに素直に感じる豊かな心が育っていきます。

ますます素晴らしい作品ができるよう楽しみにしています。

〈小学校高学年〉



〔市長賞〕 会津若松市立一箕小学校 4年 荊 祐希



〔議長賞〕 会津若松市立城南小学校 4年 上野 悠真



〔教育長賞〕 会津若松市立湊小学校 4年 五十嵐 太門



〔理事長賞〕 会津若松市立神指小学校 4年 小沼 ひらり



〔管理者賞〕 会津若松ザベリオ学園小学校 4年 愛澤 華蓮

審査講評

水の大切さを考えながら表現した作品が多く見られました。

どの作品も、水や水道を入れた構図を工夫し、丁寧に描かれていました。水の色が効果的に見えるように色づかいを工夫したり、水から連想されるものを自由に描いたりする作品が多く、さわやかな印象を受けました。

これからも、文字にこだわらず、水道から思い浮かんだ情景を工夫して描いて欲しいと思います。



〔市長賞〕 会津若松市立第一中学校 2年 橋本 侑奈



〔議長賞〕 会津若松市立第一中学校 2年 山本 凜



〔教育長賞〕 会津若松市立第一中学校 2年 石川 紗姫



〔理事長賞〕 会津若松市立北会津中学校 2年 佐藤 大志郎



〔管理者賞〕 会津若松市立第一中学校 2年 渡部 柚姫

■審査講評

自分自身の目線で捉えた水の姿をそれぞれの豊かな発想力で画面に表現することができていました。中学生らしく自分たちの生活を支える水の重要性に思いをはせ、イメージを膨らませることができていて、感心させられます。

どの作品も色彩が美しく、グラデーションやリピーション等、デザインの要素を効果的に活用するとともに、アクリル絵の具やポスターカラー、色鉛筆など、それぞれの表現材料の良さを生かそうと工夫していました。

例年より応募数が少なく残念でしたが、入賞作品のそれぞれが、表現者である生徒の皆さんの思いが込められた力作であり、審査をしながらあらためて造形表現の可能性を感じさせられました。

【書写の部】

〈小学校低学年〉



〔議長賞〕

会津若松市立行仁小学校
3年 中嶋 心乃香



〔市長賞〕

会津若松市立一箕小学校
3年 大西 毬子



〔理事長賞〕

会津若松ザベリオ学園小学校
3年 愛澤 莉杏



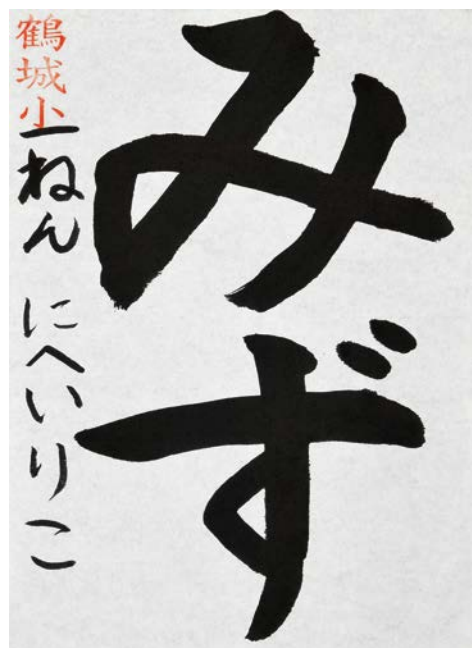
〔教育長賞〕

会津若松市立松長小学校
3年 佐藤 希美

■審査講評

1、2、3年生は平仮名2文字ですが、結びがあり、とても難しい課題です。筆の運びに注意して書くことは大変だったと思います。作品を審査していると一生懸命に練習して書いた様子が伝わってきました。学年や名前も作品の一部なので、ていねいに書くように心がけることが大切です。

毛筆のよさを生かして「とめ」「はね」「はらい」を意識して文字を書くことに親しんでほしいと思います。



〔管理者賞〕

会津若松市立鶴城小学校
1年 二瓶 莉子

〈小学校高学年〉



〔議長賞〕

会津若松市立荒館小学校
6年 菅井 惇平



〔市長賞〕

会津若松市立河東学園小学校
5年 渡部 小夏



〔理事長賞〕

会津若松市立行仁小学校
4年 安田 早矢



〔教育長賞〕

会津若松市立城西小学校
6年 一条 春歌

■ 審査講評

課題の「水道週間」は作品として字形や文字の配置が大変難しいです。しかも「しんによう」が二ヶ所対角線上にあり、紙面や隣接する文字との調和が必要である等、書写の技術と調和の図り方などの感覚が求められます。

上位の作品は、字形をはじめ書写の基本をよく心得たものが多く、本人たちの努力の成果が表現されていました。

楷書の課題ですので、点・画・はらいをはじめ、書写の要素について一層学習し、正しい文字・美しい文字・のびやかで生き生きした文字の作品作りを楽しみながら実践してください。

名前は作品の中で重要です。本文だけでなく、名前の練習も丁寧に行ってください。



〔管理者賞〕

会津若松市立鶴城小学校
5年 菅原 杏樹

〈中学校〉



〔議長賞〕

会津若松市立第二中学校
3年 舟木 愛咲



〔市長賞〕

会津若松市立一箕中学校
3年 森 円花



〔理事長賞〕

会津若松市立第一中学校
2年 安田 可歩



〔教育長賞〕

福島県立会津学鳳中学校
3年 高橋 咲貴



〔管理者賞〕

会津若松市立第三中学校
3年 横山 なぎ子

■審査講評

行書での四文字の課題でしたが、全体的に調和のとれた作品が多く見られました。

休校、外出自粛という時間が長かったので、練習の時間がなかなかとれなかったかと思います。一年生は行書になれていないということもあってか、楷書的なものが見られましたが、字形の整った丁寧な運筆で仕上げていました。二、三年生は行書の筆づかいに慣れている様子が見られ、筆の連続が自然な作品に仕上がっていました。

課題には二つの「さんずい」がありますが、手本例にならって筆脈を意識して書かれたものが多かったです。

氏名を書くスペースをとるのが大変だとは思いますが、学校名、学年、氏名をバランスよく、作品に似合った大きさ、太さで書くことに注意をすると、さらに良い作品になると思います。

【標語の部】

〈小学校低学年〉

〔市長賞〕

会津若松市立門田小学校 一年 菊地 怜奈

門田小

学校 一年

氏名 キコ うれいな

みずのむと

あのこも このこも
いいえがお

〔議長賞〕

会津若松市立小金井小学校 一年 室井 遥斗

小金井 小 学校 一年

氏名 むろい はると

ありがとう

おみずのおかげで
ぼくがいる

〔教育長賞〕

会津若松市立城西小学校 一年 星野 巧樹

じょうせい 小 学校 一年

氏名 ほしの たくま

あんぜんなみずと
みらいなまもりたり

〔理事長賞〕

会津若松市立荒館小学校 一年 二瓶 開

荒館 小 学校 一年

氏名 二瓶 開

すんだみず、

すんだこころを
にいせつに

〔管理者賞〕

会津若松市立行仁小学校 三年 村越 叶和

行仁小

学校 三年

氏名 村こし とわ

ウイルスに ぜったい まけるな

手あらいで

■審査講評

日常生活を振り返って自分の体験したことを表現した作品が多く見られました。そのため、自分の思いが素直に表現され、読んでいてその様子が目に浮かぶようでした。身の回りにいつもある水ですが、当たり前とは思わずにそこから自分の思いをさらに広げていってほしいと思います。

〈小学校高学年〉

〔市長賞〕

会津若松市立河東学園小学校 六年 渡部 碧

福島県会津若松市立河東学園小学校 六年

氏名 渡部 碧

無限じゃない
水の未来は あなたしだい

〔議長賞〕

会津若松市立永和小学校 六年 菊地 康太

福島県会津若松市立永和小学校

学校 六年

氏名 菊地 康太

水資源

世代をこえて 守ろうよ

〔教育長賞〕

会津若松市立鶴城小学校 六年 小林 心美

鶴城小学校 六年

氏名 小林 心美

つなげ！リレー

おいしい水を

未来へと

〔理事長賞〕

会津若松ザベリ才学園小学校 六年 鈴木 真歩

会津若松ザベリ才学園小学校 六年

氏名 鈴木 真歩

人間も地球も水も呼吸する

〔管理者賞〕

会津若松市立日新小学校 五年 高橋 梨乃

日新小学校 五年

氏名 高橋 梨乃

安全な水

みんなにとどける

人かいる

■審査講評

自らの体験から思いを広げ、水の大切さや節水などへとテーマを広げていった作品が多数ありました。特に入賞した作品は、「飲み水を 未来につなごう ぼくたちで」という今年度のテーマを踏まえた内容になっており、語順や比喩にも様々な工夫が見られました。

水について意識を高めるためにも、来年度もたくさんの方々に参加してほしいと思います。

〈中学校〉

〔市長賞〕

会津若松市立第三中学校 一年 坂下 心

会津若松市立第三中

学校 一年

氏名 坂下 心

安全な

水と一緒に

創る未来

〔議長賞〕

福島県立会津学鳳中学校 三年 小貫 蒼依

福島県立会津学鳳中 学校 三年

氏名 小貫 蒼依

澄みわたる

水のそばには

笑顔あり

〔教育長賞〕

会津若松市立第三中学校 三年 平野 寧々

会津若松市立第三中 学校 三年

氏名 平野 寧々

その一滴

溜めて未来を

ケル木いてく

〔理事長賞〕

会津若松市立第三中学校 三年 船山 英

会津若松市立第三中 学校 三年

氏名 船山 英

日本の水道水

質も技術も

世界が誇る宝物

〔管理者賞〕

会津若松市立第三中学校 一年 後藤 千陽

会津若松市立第三中

学校 一年

氏名 後藤 千陽

水道管

みんなを生かす 命綱

■審査講評

中学生らしく広い視野を持って、水の大切さについて、あらためて考えようとする姿勢がうかがえました。難しい言葉も多く練り込まれており、幅広い言葉の選択に感心させられました。

標語らしく、言葉のリズムを考えて作ることができると、さらに良い作品が仕上がるかと思います。

【作文の部】

〈小学校低学年〉

〔市長賞〕

会津若松市立小金井小学校 2年 百瀬 寧衣子

水はかせになりたいたいな
 小金井小 二年 百瀬 ねい子
 今年の十二月に、家ぞくで、水やでん気のむだをなくそうと決めました。でん気はへってきなのに、水はへらなくて、何でだろうとふしぎに思いました。だから、図書かんで本をかりて、水はかせになつて、今より水を上手につかえるようにしようと思いました。まずびくりにしたのは、わたしたちがつかうま水が、ちぎうにはそんなでないことです。海の水はいはいあるけど、しおが入っているからつかえません。せかい中の人水をつかいたいから、水を大せつにつかわないと、たりなくなつたらこまると思いました。それから、水をつくる工じょうがあることも分かつて、またびくりにしました。いままで、水道はきれいな川の水が出てくると思つていたからです。川の水のごみをとったり、薬できれいにしたりして、安心してつかえる水にしてくれています。おとうさんが、

しんがたコロサにならないように、水道水にいつもよりえんそを多く入れてるってしせいだより書いてあるよ。
 とおしえてくれました。つかう人のことをかんがえてつくつてくれてうれしいです。一生けんめいつくつてくれた水だから、むだにしないで大せつにつかいたいと思いました。さいごに、水はぐるぐる回っていることが分かつて、またまたびくりにしました。つかうた水はきれいにされて、また川にもどされます。だから、水をよごさないのも大せつです。あぶらやせんざいをたくさんがすと、水をきれいにするのが大へんになります。家でごはんをたべたあとに、しよきがあぶらでよごれていたら、かみでふいてからあらうています。何でそんなことをするのかかんがえたこともなかたけど、水をよごさないためにやっていると分かりました。大は、見です。そこで、家でしている水のつかい方のくふうをしらべることになりました。

本に書いてあったむだをなくすためのくふうは、ほとんどしていません。ほかにはないか、おがあさんにきいてみると、せんたくものによつてあらう方をかえていました。お風呂をあらうスポンジは、せんざいをつけなくてもよごれがおちるものをつかっていた。一ばんの大は見は、じばんをかながえてしよきをあらったことです。あぶらでよごれたしよきを先にあらうてしまふとほかのしよきもあぶらでよごれてしまふ。

す。そうすると、つかうせんざいのりようがふえて、水がよごれてしまいます。つかう水のりようもふえてしまいます。水をかながえてつかうことで、水を上手につかえるようになることがわかりました。

水のことかわかつて、自分から水を大せつにつかおうと思ひようになりました。すこし水はかせになれたと思います。これから、水をかながえながらつかうて、いつか本もの水はかせになれるように、がんばりたいです。

〔議長賞〕

会津若松市立行仁小学校 2年 小瀧 タオ

大切なバケツの水

行仁小学校 二年 こたき たお

ぼくは、お父さんといっしょにテレビを見ていました。

ぼくより小さい男の子が長いぼうのはじつことはじつ。こにバケツをつけて、かたにのせて歩いていました。その男の子は、日やけをしていてはだしでした。あせをかいていて、いっしょうけんめいはこんでいました。

ぼくは、バケツの中に大切なものが入っていると思ひお父さんに聞きました。「バケツの中には何か入っているのかな」

お父さんは、言いました。「お水が入っているんだよ」

ぼくは、聞きました。「どうしてお水をはこんでいるんだらう」

お父さんは、言いました。「男の子のお家には、水道がないんだよ。だから、川からお家まで家ぞくみんながつかうお水をはこんでいるんだよ」

ぼくは、おどろきました。水道がないお家があるんだ。わざわざ川からお水をはこぶんだ。小さい男の子がおもいバケツのお水をはこんでいてすごいな。こんなところがあるんだな。

ぼくのお家には、水道があります。家ぞくのみんなは、いつでもおいしいお水かのめます。手をあらったり、うがいをしたり、お風呂に入れます。トイレの水をながせます。

ぼくは、男の子のお家にも水道があればよいと思いました。

男の子が、いっしょうけんめいはこんでいたバケツのお水は、男の子の家ぞくみんなの大切なお水です。ぼくは、お水をつかう時は、男の子のことを思い出して、お水を出しっぱなしにしないようおだづかいをしないで大切につかいます。家ぞくにもおねがいしました。

〔教育長賞〕

会津若松市立松長小学校 3年 湯田 智悠

「お湯屋」はじめました

松長小学校 3年 湯田 智悠

ぼくたちは、毎日の生活の中で、知らないうちにたくさんのお水を使っています。のどがかわいた時にのみでなく、トイレやお風呂、花の水やりなど、水がないとこまることたくさんあります。

その中で、ぼくのおふろの入り方をよくかいます。

それは、ぼくがおふろでやっているお店「お湯屋」です。ぼくは、工作が好きなので、おふろでも何か作れないかなと考えました。そして、ぬるい、あつぬるい、つめぬるい、ちよつとあつい、けつこつあつい、マグマ、ちよつとつめたい、けつこつつめたい、氷というお湯のメニューを作りました。母にそのメニューの中から今日のお湯をえらんでもらうと、お湯と水で調整しながらその「お湯」を作ります。作ったら、洗面所に入れて、母がかけてほしいと言ったところこそ、とかけ

てあげます。
 すると、母はいつち
 っ「あ。気もちいい」。
 と言っ「よろこんでくれます。母がうれし
 そうなので、たまに自分にかけるときもあり
 ますのぼくも、
 っくうう。気もちいいいい……」。
 と言っ「してまいります。この「お湯屋」のお湯
 をかけると、つかれがふつとびます。父は、
 っ「いいない」。
 ところあるのび、こんなに気もちいいのにも
 っ「たいたないな、かけてあげたいのになと思っ
 ています」。
 おふろでつかれをとると、気もちよすどて
 ねむくなります。夜もぐっすりねむることが
 できるのび、「お湯屋」のこうかは大きいで
 す。
 クラスの友だちと水の大切さについて話し
 合っ「た時、人間は体の十パーセントの水をう
 しなうとしんびしまうことを覚えてくれた友

だちがいましたのぼくは、その話を聞いて、
 水はいのちにかかある大切なものなんだと
 思いました。しかし、それだけではいざこ
 ち思います。「お湯屋」のお湯のように、水
 は人の気もちをよくしてくれるものです。気
 持ちよく生活するためにも、水はかかせない
 ものなのです。
 今日「お湯屋」を開店します。今日は、
 びんのお湯のちやうもんが入るでしょうかの

私のがのんでいる水はどこから来たの

ザベリオ小 三年 愛澤 莉杏

私の住んでいる会津若松市には、つるがじょうという有名なおしろがあります。私は、家族でよくそこへ行って、お花見をしたり、おしろに上ったりします。この前おしろに行ったとき、大きな穴を発見しました。お父さんに聞いたら、

「これは昔の人が使っていた、井戸なんだよ」と教えてくれました。昔は、井戸の水をのみ

水や生活に使っていたという話を聞いて、とてもおどろきました。私は、井戸の水はどんな味がするのだろう、井戸の水はきたなくないのかなあと思ひ、井戸水について調べました。井戸の水は、川の水とちがって地表にふった雨などが地面にしみこんで、土などを通る時にごみなどが取りのぞかれて地下水というきれいな水になるので、ひかなくて安全にのめるそうです。しかし、本当に体に良くな

りません。私は、安全な水道水をのみたいな
あ
と思いました。

そこで、私ののんでいる水道水はどのような
にして作られ、はこばれてくるのか知りたい
と思ひました。会津には四か所のじょう水場
があり、私の家は東山ダムに近いのでそこ
らの水をのんでいるのかなあと思ひました。
お父さんにおねがいして、東山ダムを見に行
ってきました。東山ダムは山に囲まれた谷の
ようなところにあり、それをコンクリートの

高いかべでせき止めて水をためていました。
ダムのせつ明書きには千二百五十万立法メー
トル（東京ドーム約十杯分）の水をためてお
けると書いてありました。ダムは大雨の時の
川の水のりょうを調せつしてこう水をふせい
だり、水のかで発電にも使われたりするそう
です。でも、ダムの水はみどり色ににごっ
て、とてもものめるようなかんじには見え
ませんでした。その水を、私たちが使うの水
にするにはどのような方法があるのか調べて

みました。ダムの水はじょう水場に運ばれて
そこでいろいろな薬品やきかいを使ってごみ
や有害な化学物しつ、びょう原さんなどを
取りのぞき十分なけんさをして安全にのめる
水を私たちの家にとどけられているそうです。
昔は工場もなく農薬もなかったの、今の
ように人にがいのある化学物しつはほとんど
なく、井戸の水でも安全にのめていたかもし
れません。でも、びょう原さんによってたく
さんの人々が亡くなったという事あったそ

うです。日本以外の国では、実に下水道水
をのみ水として利用できない国もたくさんあ
ります。水道水さえない国もたくさんありま
す。今、私たちは水道水を当たり前のよう
にのんでいます。世界で一番安全な水道水を
のめることにかんしゃをして、水道水を大切
に使っていきたいと思います。

〔管理者賞〕

会津若松市立城北小学校 2年 渡邊 結菜

まい日ありがとう
城北小学校 二年 わたなべ 結菜
「も」たいない、も「たいない」。
水を出し、ばなしにすると、うちのおかあさ
んは、すぐに「も」たいないかあさん」にへ
んしんします。そして、
「水は大じなんだから。せかいには、水ど
うがなくて川に水をくみに行かなくちゃいけ
なくて、学校に行けない子だっているんだ
から。おふろに入れなくて、川で体をあら
うくにだ。であるんだよ。」
と言います。
それを聞いたびに、水どう「てすごいなと
思います。どこのいえにもおみせにも、こう
えんにも水どうがあ。て、とうめいできれい
なつめたい水が出てきます。
あさおきて、トイレの水をながします。ご
はんをたいたり、しよっきをあら。たり、歯
みがき、かああらいに水をつかいます。
学校に行。たら、のどがかわいたときに水

どうの水をのみます。そうじのときにぞうきんを洗うのにも水をつかいます。

学校からかえたら、手あらいいうがいで水をつかいます。よるごはんのみそしるにも水をつかいます。お風呂では、とてもたくさんのお水をつかいます。体をきれいにあらって、お風呂に入るのは、とても気持ちいいです。こんなふうには、おさからよるまで、まい日たくさんのお水をつかっています。

水は、のどがかわいたときにのんだり、リ

ョウリにつかったり、人げんが生きていくためにひつようです。

ほかにも、手あらい、うがい、お風呂、せんたく、トイレなど、びょう気にならないように体やまのまわりをきれいにするためにひつようです。

でも、水どうの水ってどこからきているんだろう、とふしぎに思いました。おかあさんに聞くと、

「もともとはおき、水だったり、雨や雪がとけ

た水なんだよ。でも、そのままだとばい菌がいて、のんだらおなかがいなくなったり、びょう気になっちゃうから、じょう水じょうで、みんながのんでもだいじょうぶなようにきれいにしているんだよ。」

とおしえてくれました。

それを聞いて、きれいな水をつくってくれるじょう水じょうで、すげいなと思いました。じゃ、口をひねるとききれいな水が出るって、すげいことだということをおすれないうちに

したいです。

せかいには、きれいな水がなくてこまている人たちがいます。なので、わたしは、水をむだにしないように気をつけてつかいたいです。

せかい中に水どうがでて、せかい中の人たちがきれいな水をのんだり、きれいな水で体をあらったりできたらいいなと思います。そして、子どもたちが水をくみに行かないで、学校に行けるようになるといいなと思います。

「水道」は身近なもので、テレビやインターネットだけでなく、自分の体験をもとにしながら、自分と関係させながら思いをふくらませていくことが大切だと思います。

〈小学校高学年〉

会津若松市立城南小学校 6年 上野 航葵

安全でおいしい水を未来へ	城南小学校	六年	上野	航葵
「キユキユ。ジャー。うわ、冷たくておいし	い、さ、はりした。」			
ぼくは、体育の授業が終わり、た後や部活で走	った後に、友だちのいっしょに水を飲んだり			
顔を洗ったりする。すると、心も体も元気に	なつて、次からとがんばろうという気持ちに			
なるから、水が大好きだ。				
いってるとどこでと、じゃ口をひねれば出て				
くる水。当たり前にあることに何も思わず、				
たくさんの水を使っていた。しかし、テレビ				
のコーナーシャルを見て、水に対して考えろよ				
うになつた。				
妹の命をうばつた水。生きるためには、飲				
みしかなかつた。				
とおどろく言葉だ。た、水で命を落としてし				
まうなんて、考えもしないことだ。た、なん				
て悲しいことなのか。なんてくやしいのか。				
胸がとてぎしくなつた。				

それから、水について調べてみた。この地球は、水の惑星と言われている。九十八パーセントが海水、二パーセントが淡水、そのうち人間が使えるのが、わずか〇・〇一パーセント。さらに、水道水が安全に飲める国は、十五カ国しかなく、そのうちの一カ国が、この日本。『安全な水』が当たり前ではなくて、とて貴重なのだ。と気付かされた。世界百九十六カ国のうちの十五カ国以外の国の人たちは、水を買って飲んだり、このコマース・ル

の女の子のように、泥水や雨水を汲み、危険と知りながら、その水を飲んでいいる。じや口をひねると水が出る、この日本に生まれて幸せだと思えた。

さらにどう一つ、考えさせられることがあった。

それは、去年十月の台風十九号が近付いてきて、近くの川があふれそうになった時だった。母が、

川があふれたら、水道も電気もガスも全部

止まってしまう。電気やガスが止まっても、少しの間は我慢出来るけど、水道が止まったら、のどがかわいても水は飲めないし、トイレにだっていけないし、死んでしまうかもしれない。だから、ペットボトルとタンクに、今のうちに水を入れておいて、いつでも避難が出来るように、車に積んでおくよ。

と、いきなり言われて、頭の中がぐるぐる。困っていたけれど、命を守るためにするんだということはわかった。生まれて初めての経験で、こわかったけれど、ぼくの地域は何と被害が出ずに済んだ。しかし、県内の外の地域では、川がはんらんし、水道も止まり、給水車の前に人がたくさん並んでいる所が、テレビに映っていた。

水が出なくなるって、こんなに大変な事なんだ。やっぱり、水を大切に使わないとダメだね。

と、この時に改めて思った。

この二つの経験から、今、ぼくに何が出来る

るのかを考えた。千里の道も一歩からと言われるように、水一適もむだにせず、一人一人が意識して使うこと。それから、安全な水を作り出して、いる方々、浄水場で働いて、いる人、水道工事で水道管を作ったり直したりして、いる人などに、感謝をすることも必要だと思ふ。

ちよとした気付きが、当たり前前の水。この先をずっと未来へ残せる「第一歩」になるよう、ぼくは周りの人に伝えたい。そして、先頭に立ち、実行していきたい。

〔議長賞〕

会津若松市立荒館小学校 4年 遠藤 駿太郎

水道水とぼくたちの暮らし。荒館小学校 四年 遠藤 駿太郎。

「ぼくたちの飲んで、いる水道水は、どこから来ているんだろう」と、ぼくは、ふとそう思いました。飲み水や炊事、お風呂などに、水道水を使っています。とてもきれいで、おいもありません。量も豊富です。でもその水がどこから来るのかよく分かりません。そこで、ぼくは、「水道水は、どこから来るの？」とお父さんに尋ねてみました。お父さんは、

「本当だね。会津若松市の水道水は、この水なんだ。う」と答えました。そこで二人で、会津若松市の水道水について調べてみることにしました。

図書館が休業中なので、会津若松市のホームページを見てみることにしました。そこに「水源の紹介」というページがあり、会津若松市の水源は、猪苗代湖、東山ダム、大川、舟子沢の四つであることが分かりました。

とも身近な所です。でも身近であるだけに

「もし湖や川の水が汚れてしま。たら、水道はとうな。てしま。の。だ。ろ。う。」と。考。え。て。し。ま。い。ま。し。た。そ。う。い。え。ば、猪苗代湖の水質が低下して。い。る。と。い。う。話。を。聴。く。よ。う。に。な。り。ま。し。た。そ。の。他。に。も、マイクロプラスチックのニ。ス。も。耳。に。し。ま。す。今。は。安。心。し。て。水。道。水。を。使。う。こ。と。が。で。き。ま。す。が、湖や川が汚れて。い。て。し。ま。たら、将。来。は。飲。み。水。と。し。て。使。え。な。く。な。て。し。ま。う。か。も。し。れ。ま。せ。ん。ほ。く。た。ち。の。住。む。会。津若松市の水道水がどこから来。て。り。る。の。か。も。と。多。く。の。人。に。伝。わ。る。と、み。ん。な。で。湖。や。川。を。き。れ。い。に。す。る。活。動。が。広。が。る。は。ず。で。す。そ。し。て。き。れ。い。な。水。道。水。を。将。来。も。使。い。続。け。る。こ。と。が。で。き。る。と。思。い。ま。す。ほ。く。た。ち。の。生。活。が。水。道。水。の。未。来。に。つ。な。が。て。い。る。の。で。す。読。け。て。ホ。ー。ム。ペ。ー。ジ。を。調。べ。て。み。る。と、会。津若松市の水道水は塩素注。入。量。を。い。っ。も。よ。り。高。め。て。配。水。し。て。い。ま。す。と。い。う。コ。メ。ン。ト。が。あ。り。ま。し。た。「ど。う。し。て。な。の。か。な。」と。思。い。読。ん。で。い。く。と、感。染。症。を。予。防。す。る。た。め。だ。と。い。う。こ。

こ。が。分。か。り。ま。し。た。ほ。く。た。ち。の。使。て。い。る。水。道。水。に。は。塩。素。が。注。入。さ。れ。て。い。ま。す。そ。れ。は。ウ。ィ。ル。ス。や。は。い。苗。を。消。毒。す。る。た。め。で。す。こ。の。こ。ろ。は、新。型。コ。ロ。ナ。ウ。ィ。ル。ス。感。染。症。が。日。本。で。も。広。が。て。い。ま。す。そ。の。た。め。水。道。水。の。塩。素。注。入。量。を。高。め。る。こ。と。で、そ。の。ウ。ィ。ル。ス。に。か。か。り。に。く。く。し。て。い。る。こ。の。こ。と。で。す。読。み。進。め。て。い。く。と、京。都。大。学。の。カ。ゼ。の。発。症。と。う。か。り。に。つ。い。て。し。と。い。う。調。査。結。果。が。あ。り。ま。し。た。水。道。水。で。う。が。い。を。す。る。グ。ル。ー。プ、ヨ。ー。ド。で。う。が。い。を。す。る。グ。ル。ー。プ、特。に。う。が。い。を。し。な。い。グ。ル。ー。プ。の。三。つ。の。グ。ル。ー。プ。に。分。け。て、ニ。ケ。月。に。わ。た。て。カ。ゼ。の。発。症。を。調。査。し。ま。し。た。そ。の。結。果、水。道。水。で。う。が。い。を。す。る。グ。ル。ー。プ。の。カ。ゼ。の。発。症。率。が。一。番。低。か。た。と。あ。り。ま。し。た。水。道。水。に。含。ま。れ。る。塩。素。が。効。果。を。発。揮。し。た。の。で。は。な。い。か。と。考。え。ら。れ。て。い。る。よ。う。で。す。ふ。だ。ん。便。て。い。る。水。道。水。に。消。毒。効。果。が。あ。る。な。ん。て。お。も。ろ。き。ま。し。た。水。道。水。は、ほ。く。た。ち。の。健。康。を。守。て。く。れ。て。い。る。か。か。の。ヒ。ー。ロ。ー。の。よ。う。で。す。

今回、水道水について調べてみて、あらためて水道水のありがたさが分かりました。ほかたちは、当たり前のように安全な水を使うことができません。でもそれは水道水を作るために、いろいろな方々が管理してくれているからこそです。そして自然の恵みがあるからです。水道水がいつまでも安全に使える社会であるように自然を大切に、そして水道水を管理してくださる方々に感謝して大事に使いたいと思います。

〔教育長賞〕

会津若松市立鶴城小学校 6年 小林 心美

水は地球みんなのスーパーヒーロー。鶴城小学校 六年 小林 心美。いつも、じつ口からあたりまえにおいしい水が出てくるので、私は、水のない生活なんて考えたことがありませんでした。私たちの生活にかかせない水が、どのようなか、浄水場を見学しました。水が使えるまでには、ろ過を行ったり、薬品を混合させたりして、いって、働く人達の努力が分かりました。また、外国には水道からきれいな水が出ない国がたくさんあると聞いて、とてもおもしろかったです。水がなかったら、生きていくために必要な食事やトイレ、お風呂など不便なことも多くな。て、人と動物が生きていけなくなり、植物や作物も育たなくなってしまうです。そのために私たちが気をつけないといけないこととは何かな。と考えました。まず水をむだに使わないことです。節水の

コッをお母さんに聞いてみたら、
「お風呂の残ったお湯を洗たくに使っているよ。」
と、言っていました。それなら水がむだにならなくて、いいな。と思いました。
次に水をよごさないことです。油などを使った料理のお皿を洗おうとすると、なかなか落ちないので、水や洗剤をむだに使ってしまいます。なので、私の家では、ティッシュペーパーなどを使って油をふきとってから洗います。そうすると、あまり洗剤を使わずにすむからです。こういう私たちの小さな努力で、きれいな自然をこわさないようにしていきたいと思います。
また、テレビなどで見かける子ども達が学校に行かず、ぼだしでバケツを持って、水をくんで帰るすかたを見て、
「え、よごれた水を飲むの？かわいそうだな。」
と思いました。世界できれいな水がでない国は半分以上もあることを知って、生活するのは

大変そうだと思います。私たちのもう着れない服を集めて服のない国へととけるしくみもあります。が、いつか未来では、きれいな水が出ない国へ水をとけることが出来る、といいな。と思いました。
水の大切さを知ってから、人の体の水分はどのくらいなのか。と興味をもったので、調べてみることにしました。まず、大人の水分量は約60パーセント、子どもは70パーセントでした。子どもよりも大人の方が背が大きいのに、子どもの方が水分量が多いことを知って、あ、どうしました。また、食べ物でも、水分量が半分以上で、見た目は全然ちがうんだなと思いました。
今回、この作文を通して、水がなくなったら、生きていけないことになるんだな、ということがあるの、きれいな飲み水を未来につないでいくためにも、むだに使わず、大切にしたい。

ローだな。と感じました。

〔理事長賞〕

会津若松市立荒館小学校 6年 白井 るな

日本のおいしい
水道水

荒館小 六年 白井 るな

世界で約二百か国近くある国の中で、
7 水

道水を飲む国は、日本を入れて、あずか

十五か国しかないことを、みなさんは、知

て
い
ま
す
か

水は
私たちの
日々の
くらし
の中で、
なく

てはならない大切なものです。

私の住んでいる日本では、
じや、口をひねられ

は安全で安心して飲める
——とでもおいし

水がでてくる水道水があります。その水道水

のおかげで、私は、とても幸せな生活を送る

こ	と	か	で	き	て	い	ま	す
---	---	---	---	---	---	---	---	---

のどがかわけばおいし
い水を飲み、お腹が

す
け
は

お
い
し
い
水
で
ご
飯
を
炊
い
て
、
味
そ
汁

を
作
り

煮
物
を
し
ま
す

私
た
ち
の
食
生
活
に

水は欠かさないものなのです

水道水から飲める十五か国の中で、

か	応	い	国	て	は		地	域	に	よ		て	水	質	に	差	か	あ	る
---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	---	---	---

と言われている。水道のない国が77%中、

日本は、北海道から沖縄まで、全国ほとんどの地域で「じやろ」をひねれば、安全でおいしい水が飲めるので、とても恵まれた国なのです。だから「幸せな生活」と言えるのです。

また、日本には、ダムや浄水場があり、きれいで大きな川が何本も流れています。そして、そのダムや浄水場を管理している人が、たくさんいてくれるからこそ、私たちは、「水道水」がある当たり前の生活を送ることができています。私たちは、夜も寝ずに働いている浄水場の管理者の方たちに、感謝しなければなりません。

生物がたくさん住んでいるきれいな川が、生活はいい水で汚れたり、ごみがたくさん流れていたりすると、浄水場の水をきれいにする機械が壊れてしまい、管理している人たちが、困っています。そうならないために、私たち一人一人が、道路や川へのごみのポイ捨てなどをしないように、みんなに発信していくかなければなりません。

私たちが、普段、当たり前のように使っている水は、使った後は、「はい水」されま

す。

川が汚れている主な原因は、「生活はいい水です。ひどい油汚れの皿などは、テイクアウトで一度ふいてから、指定された量の洗剤を使って洗い流します。このひと手間です。生活はいい水は、少なくなり、川の汚れをおさえられます。エコにもつながります。

朝起きた時の洗顔や歯みがきはもちろん、夜、お風呂に入った時のシャワーなど、一時的に水道水を止め、節水を心がけることも必要になります。

水を汚さない、そして、節水する工夫を心がけ、大事な水をみんなですべていきたいと強く思います。

また、「水道水」は、「ミネラルウォーター」よりも厳しい基準で作られているからこそ、安心・安全な水なのだと思います。この水、水の大切さやありがたさと共に、発信

	0
巨	0
言	お
同	む
	て
	た
	し
	レ
	乙
	た
	入
	こ
	乙
	て
	し
	へ

会津若松市立鶴城小学校 6年 目黒 愛彩

[illegible]

— 33 —

ることかできなくて、不便でかわいそうだと
思いました。だから、いつか中国も水道水が
飲めるようになつてほしいと思いました。
次に、テレビで見たCMについて考えまし
た。ユニセフのぼ金運動のCMには、学校に
行けず、毎日遠くに行つて、水をくみに行つ
ているアフリカの子たちがうつています。
しかも、その水は、あまり清潔ではありません
ん。わたしは、その子たちがかわいそうだと
思いました。

最後に、浄水場のことについて考えました。
わたしは、四年生のときに、浄水場へ見学に
行きました。そのときに、浄水場のパンフレ
ットを見て、私たちが住んでいるところの周
りには、浄水場がたくさんあることを知りま
した。また、浄水場で働いている人から、水
をきれいにするまで何時間かかるのを聞き
ました。わたしは、浄水場で働いている人が
水を最後まできれいにしてくるのは、幸せ
なことだと思いました。

これらのことから、わたしは、自分にでき
ることにについて考えました。一つ目は、ぼ金
活動に参加することです。ユニセフなどの
水が十分に飲めない人たちに水を送るための
ぼ金活動に参加して、少しでも、水が十分に
飲めない人たちの力になつてあげたいです。
二つ目は、水を節約することです。水は、か
がりがあるものだし、また、水を節約すると
お金も節約できるので、これから水を節約し
ていきたいと思えます。三つ目は、水をきれ

いにして捨てることです。水をきれいにし
てから捨てるのと、その分、浄水場の人たちが水
をきれいにするとともに、楽になるので、水を
きれいにしてから捨てたいと思えました。
わたしは、世界中のだけれども、いつでもお
いしい水を飲めるように、少しでも自分にでき
ることがあれば協力していきたいと思います。
これから、飲んでいいる水を大切にしてい
きたいと思いました。そして、当たり前のように
にきれいでおいしい水があることは、幸せな

■ 審査講評

応募作品が70点と多く、審査する際かなり苦勞した面もありました。いずれの作品も水の大切さ、環境問題に言及して意識の高さを感じました。日本と外国の対比など、調査した作品が多く、インターネットで簡単に検索でき、昔とは隔世の感がありました。

審査基準においたのは、インターネットで調べた知識を書き記すことよりも、自らの体験、経験に基づいた作品を重視した点です。

次世代を担う小学生が、水道を管理している人たちへの感謝の気持ちを、作文を通して表現していることは喜ばしいことです。世界でも水に恵まれている日本の将来に多少の期待を持ってもいいのではないかと思います。

水の恩恵ばかりか、水の恐怖に言及した小学生もいましたが、そうした両面の見方でもないかと感じました。新型コロナウイルスの感染拡大に対する社会問題と水の問題をからめて、今後は広く水について考える機会を多く持つてもらいたいと思います。

応募作品が多かった小学校高学年に比べて、低学年、中学生の少なさが多少残念でした。

ことだということを、ずっとわすれないでいきな

若松第二中学校 三年 高倉 早紀

私は学校が休校になつてゐる間、弟と穴を堀つた。堀れば水が出てくるのではないか。そんなたら、その水を無料で使うことができる。水をまいたり、すいかを冷やしたりしたい。温泉が出てきてもいいな、と思ひながら堀つた。今思えばどうがしてゐた。きつと時間があつたからだらう。暇というのはいふんなことを考えることが分つた。堀つていくうちに穴の底に手が届かなくなつたのである。そして一メートルくらい堀つてあきらめてしまつた。私は考えた。もし、あのままどんどんドリルやくわを駆使して堀り続けたら、水が出ただらうか。井戸ができただらうか。

そこで、インターネットで調べみた。分かつたことは、水は水脈から出るといふこと。堀つても水が出ないところはないといふことだ。そもそも、地下から出る水は雨水だ。水脈とは、地下の川のようなものだ。分かつた。今、どこかの井戸からわき出る水はどの

くらい前に降つた雨なのだらう。昔の人は井戸を使って水を得てゐた。現代は、水は水道管を通つて各家庭に流れ、蛇口をひねれば水が出る。とても便利だ。私は水の大切さを理解してゐるつもりだ。しかし、川から水が来てゐて、川は雨水からできゐて、雨は雲から降つてきて、雲は海の水からできゐて、海の水は川から流れて来てゐることを実感してはいなかつた。水は自然の中をめぐつてゐることを感じてゐなかつた。

そして、私たちは自然と水の恩恵を受けて生きてゐるといふことを感じた。私たちはそのことを知つてゐるが知識だけでは何も変わらない。私たちは水やそれを生み出す自然のありかたを忘れてきてゐる気がする。そのことについて考えなくてはいけない。生物にとつて水は必要不可欠なものだ。人にしてても、虫にしても草にしてもだ。もし、水がなくなつてしまつたらどうなるかと考えてみた。日光や土などはあるのに水がない。

日光が照リつけ、土が乾き、草が生えない。植物は枯れ、草食動物、そして肉食動物も死んでしまう。雑草すら一本も生えてこないのだ。水のかわりはない。つくづく水は特別なものであった。一番水を利用してゐるのは人だ。人は水中の魚をとって食べる。特に日本人は生でも食へてきた。漁業をして暮らしてゐる人の中には森や山、環境をよくしてから漁業に取り組む人がいる。なんでも、水は山から川となつて海へ入るからさうだ。山の栄養を含んだ水が海の滋養となる。水は円のようにめぐり、水にふれて米や酒もできてゐるからだ。山に雨が降り、染み込んだ水が大地で滲れ、豊富なミネラルを含んで川となり、海となる。そして私たちに恵みを与えてくれる。やがて空へ昇り、山へ還る。今、私たちが使つてゐる水は、何百年も前の祖先が使つた水で、巡りめぐつてきたのかもしれない。

けれども、そんな水が人の生活を壊すことも悲しいことに多い。昨年の大雨がよい例である。土砂崩れや、川の氾濫などが起きて、大きな被害が出た。福島県でも川が氾濫して、多くの被害を受け、私の中学校は避難所になった。水は時には驚異的な力を示す。地球の大地なるパワーとして私たちが人間につきつけてくる。しかし、水を恨んでゐる生物はいない。私たちは水なしには生きていけないからだ。不思議なことだ。なぜこんなふうにできているのだろう。地球は、そんなことを考えると、川や湖や海を人の思うがままに使うのはおかしいとも思う。水を利用させていたでゐるぶん、水にもそれだけの感謝と敬意を示すべきである。水が空から降り、大地へ染み込み、清水となつてしみ出るまで百年の歳月が掛かつていふと言われる。私たちは水ができるまでの過程に思いをはせ、毎日水を飲んだり使ったりするべきなのではないか。そして水を与えて

くれ、偉大な地球のパワーに思いを任せ、大切に使うべきだと思います。

〔議長賞〕

会津若松市立一箕中学校 2年 佐藤 空成

喜怒哀楽と水

一箕中 二年

佐藤 空成

喜怒哀楽、人にはたくさん感情があり、喜んだり、怒ったり、哀しんだり、楽しんだりすることができます。それは、水にも共通することだと私は思っています。

人は、誰かに乱暴に扱われて、どう思うでしょう。私は嫌な気持ちになると思います。水も、無駄に流れれば、どんな気持ちになるか考えたことはありますか。私は、家族や

友達に、頼りにされたり、祝福されたり、必要に大切に思ってもらえると実感したとき、心から喜びを感じることができます。それは水も同じで、私達に大切にされたら喜ぶと思います。皆さんは、水を大切にしていますか。私は、心から喜ぶこと素晴らしいと思います。だから世界中の人に、水を大切に遣ってほしいです。

水と聞いて私は、東日本大震災を思い出します。たくさんの方の夢や希望を奪って、い

津波、被害を受けた方々、大切な家族を失
うしま、方々は、誰にも防ぐことができな
い震災の、被害のどこに怒りをぶつけてよい
か分からず、辛く、苦しい日々が続いて、た
とテレビを通して知りまいた、つまり、いつ
水害が襲って来るのかは、分からないので、
少しでも命を守るために、大切な人を守るた
めに、水害に備えることが、命を守る第一歩
です。

水はときに、人を襲う凶器ともなります、

その傷は、簡単には消えませんが、でも今、た
くさんの若い人達が、被災地の復興に携わっ
ています。東日本大震災は、たくさんの人に
影響を与えました、私は、その影響を受けた
一人です、そして、これから私も、誰かのた
めに将来、役に立ちたいです、東日本大震災
で、亡くなった命を無駄にしないというこ
と、水害を通して学びました。

水は安全なものだと、私は思っていました。
飲みたいときに飲む、それがあたりまえにな

ていました。

そんなある日、テレビで汚れた水を飲んで、
命を落としてしま、に南アフリカの女の子を
知りまいた、その子には、お姉ちゃんがいま
す、そのお姉ちゃん、妹の命を奪った水を
飲おしか生きられないという、哀しい現状が
あ、たそうです。他にも、生きるために水が
必要で何時間もかけて、遠くまで行、て水を
確保し、学校に行けず、将来の夢を、あきら
めなければならぬ子供達がたくさんいます。

こんな哀しい現状を変えようと、今、安全
な水を、色々な人のもとへ、届けられている
そうです、私は、テレビで見た、安全な水を
飲んでいる子供達の笑顔が、とても心に残っ
ています。

夏の暑い日、私は、暑さのあまり、扇風機
の前で、水、ト、ト、ト、ト、ト、ト、ト、ト、
「キヤハハハハハ」

と子供達の高い笑い声が響いていて、気にな
るので、外の様子を見てみると、数人の子

子供達が楽しそうに、水遊びをしていました。皆で水をかけ合って、びしょびしょになり、暑さなんて、一つも感じられないくらい、楽しそうでした。子供達から弾かれた水が、虹をつくり、輝いて、水も子供達と同じように生き生きと、楽しんでいるように見えました。ある日の部活終わり、噴水がある公園で、小さい子供達が楽しそうに遊んでいました。その周りには、子供達を優しい笑顔で見守る家族の姿がありました。散歩に来ていた犬も水に興奮して、それを見ていた飼い主のおじいさんも楽しそうで、公園が、たくさんの笑顔であふれていました。見ている私も、楽しく、気が付くと笑顔になっていました。水がこんなにも、色々な人や動物を楽しませられるなんて、初めて実感しました。

今までの体験を通して、水には色々な力があると感じました。人はそれぞれの生まれた場所があり、いろんな個性があります。それは水も同じだと、改めて思いました。

雨が降、たら、外に出れなくて、哀しむ人もいれば、怒る人もいる、一方で、恵みの雨といい、喜ぶ人もいる、水たまりで遊んで楽しむ人もいる。他にも、哀しむ涙、嬉しい涙、笑いに溢る涙を流したり、人生には、水が必ずあります。どんなときでも水はあります。人間が誕生したときも、世界で戦争をしていたときも、これからずっと、私達には、水が必ずあります。人の上には、空があり、人のそばには、水があります。喜んだり、怒ったり、哀しんだり、楽しんだり、感動したり、笑ったり、人も水も、感謝されて、嫌な気持ちになる人は、いないと思います。

だから私は、大切な水を無駄遣いしないで、水に感謝して、これからの人生を歩んでいきます。

水	な	ぎ	自	で	て	今	清	透		存	私	を	も	な	か	い	「	キ
を	い	て	由	、	飲	ま	掃	明	私	在	か	一	二	う	わ	万	レ	
自	あ	い	な	水	め	で	の	で	か	、	水	箕	か	分	物	イ		
由	り	、	く	か	た	、	た	き	水	そ	道	中	生	か	の	な	水	
に	ま	水	水	で	水	水	め	れ	道	れ	の	学	き	と	根	を	未	
使	せ	か	使	な	か	道	断	い	蛇	か	あ	校	て	さ	源	来	へ	
え	ん	使	え	い	で	の	水	な	口	水	一	学	き	れ	は	中	と	
な	で	な	る	こ	て	の	に	水	を	で	中	校	た	、	水	学		
く	し	い	こ	と	く	か	な	か	ひ	す	塚	暖	た	は	は	の		
な	た	生	と	か	の	を	り	で	ね	田	菜	た	は	る	創			
り	。断	活	も	当	か	ね	ま	三	と			た	か	昔	始			
ま	水	を	焦	たり	当	ば	れ	日	、			た	昔	か	者			
し	か	意	り	前	たり	安	。産	貯	い			た	重	か				
た	終	識	ま	に	前	全	ま	水	つ			た	要	で				
。水	わ	し	す	な	た	で	て	槽	く			た		、				
か	る	こ			の	安	か		に									
で	ま	と			た	心	ら											
ない	で				の	し												

き	日	め	わ	ヶ	あ	水	様	で		感	毎	あ	と	考	い	ま	風	と
ろ	本	に	て	国	り	道	々	、	日	謝	日	り	思	え	た	せ	呂	、
か	に	住	い	し	ま	か	な	家	の	し	大	か	い	ら	の	ん	も	飲
、	住	む	新	か	す	あ	所	や	水	ま	切	た	ま	な	か	。ん	食	み
水	む	私	型	な	水	、	で	学	使	し	な	み	思	い	思	。ん	器	水
道	私	達	コ	い	道	公	水	校	え	。い	水	や	い	知	い	。ん	洗	も
か	達	は	ロ	う	水	園	を	、	ま	つ	届	大	り	り	な	。ん	い	無
無	、		ナ	で	か	、	使	公	す	も	け	切	私	ま	毎	。ん	も	く
い	毎	日	ウ	。今	飲	ス	ま	園	す	あ	て	さ	は	日	水	。ん	料	、
国	手	手	イル	、世	め	、ス	。し	、ス	。い	あ	か	分	こ	を	使	。ん	理	ト
の	洗	洗	ス	界	国	、ス	か	、ス	つ	り	り	か	の	。水	。ん	も	イ	イ
人	い	い	感	で	は	、ス	し	、ス	セ	か	、	と	経	が	。ん	洗	し	は
々	や	や	染	恐	水	、ス	、	、ス	ン	。水	水	。ん	験	無	。ん	濯	水	か
の	う	う	症	れ	道	、ス	、	、ス	三	共	道	。ん	を	い	。ん	も	か	流
こ	か	か	予	ら	か	、ス	、	、ス	パ	に	や	。ん	た	生	。ん	歯	れ	お
と	い	い	防		無	、ス	、	、ス	ー	心	。ん	。ん	活	活	。ん	磨	お	お
を	ま	ま	の		国	、ス	、	、ス	ケ	の	水	。ん	な	な	。ん	き	お	お
考	す	す	た		も	、ス	、	、ス	ツ	。ん	道	。ん	。ん	。ん	。ん	も	お	お
え	え	え	。ん		十	、ス	、	、ス	セ	。ん	。ん	。ん	。ん	。ん	。ん	出	お	お
る	で	で	。ん		五	、ス	、	、ス	ン	。ん	。ん	。ん	。ん	。ん	。ん	来	お	お

と、胸かしめつけられました。世界人口の四割、約三十億人もの人が、石けんと水で手を洗う設備が自宅になく、世界の学校の三分の一以上は、子供が手洗いでできる場所がないそうです。日本での当たり前のことが、他の国では当たり前ではないことにとっても驚きました。いんなに日本が水に恵まれているか、水を大切にすべきか考えさせられました。こんな恵まれている日本の水ですが、水は限りある資源です。私達は恵まれた水を守るために、どのようなことができるでしょうか。また中学生の私に、一体何ができるでしょうか。そのようなことを考え、毎日何かできるか意識して生活するように心がけました。例えば、お風呂で頭を洗う時、シャワーを流しっぱなしにせず、こまめにシャワーを止めます。また、石けんでの手洗いの時にも、こまめに水を止めます。できるはんいで、毎日毎日少しづつですが、水を守る第一歩を歩き始めました。水道の蛇口から流れる水は、一

分間で十二リットルになります。水を使う時間を毎日一分間短くするだけで、一年間ではなんと三百六十五リットルの節水になるのです。毎日の積み重ねが大事だと改めて思いました。節水以外にも、生活排水を減らすことも水に優しくすることかできます。お風呂や台所や洗濯等の生活排水を下水道場で処理して、川に流している家庭は九割におよびます。しかし、残りの一割の家庭は、処理されません。まま川に流されていき、水を汚染していきます。ほとんどの家庭の生活排水が処理されてから川に流されるといっても、食べ残しや合成洗剤は、完全に分解処理することが難しいそうです。食器洗いや洗濯、合成洗剤を使わない日は一日もありません。自分達の何気ない行動が水を汚染していたと知り、とても驚きました。知らないということは、こわいことだと思います。私達は何気ない行動で汚してしまった川か

うは、生き物かといふ減っています。私の
祖父母の家の近くには、夏になると螢が見
れる場所があります。毎年螢を見ることを楽
しみにしています。祖父母が子供だった頃は、
地上の天の川かと思うくらい螢がたくさんい
たそうです。螢を探すことなく見つけること
ができたそうです。母が子供の頃には五ひき
くらいしか見つけることができなかったそう
です。私の時代では、探しまわってやっと数
ひき見つけれくるくらいです。螢はきれいな
川にしか住めなかったため、川の水が汚れてい
たからなんだと悲しくなりました。
生き物達が無言で私に伝えてきます。私か
大人になつた時、私の子供、私の孫の時代に
は川の水質が改善されて螢が増えているとし
ょうか。この美しい螢を次の世代に見せるこ
とができるでしょうか。水は私達人間だけの
ものではありません。植物も生き物も水を必
要としています。水をきれいにするのも私達
人間、生き物を死に致らせるのも汚れた水を

作るのも私達人間です。キレイな水質を守る
のは、私達一人一人の行動したいなのです。
私はまた中学生ですが、私の次の世代、その
また次の世代にも世界に誇れる日本の水であ
るために、意識して水を使っていきたいと思
います。今日も私は蛇口を閉めます。未来へ
ときよいな水をつなげるために。

〔理事長賞〕

会津若松市立第二中学校 3年 瓜生 朋花

未来につ
くたい宝

会津若松市立第二中学校 三年 似江朋花

先日、アノカニスタンの日本人医師が銃撃されたというニュースが流れた。中村医師は川にたぐさんでダムを建設したほか、井戸も掘削し、現地の砂漠はサササの緑化された。用水路の工事中に襲われた中村医師を、現地のサントバ悼々、悲しんでいる様子も報道された。かニ大統領は自ら亡くすを担い、その能を悼むために、地域に多大な貢献をしたことば伝わった。私は、水道工事でもサセ襲われ、命を奪われるかもしれない。

[illegible]

汚れた水。もう考えろと、自分の置かれた
 環境がどれだけ悪いのか、は、と気が
 ついた。そして、当たり前だと思っ
 水、を、大切に使用しなければなら
 ないかと思えた。
 し、かし、このようにきれいな水が
 手には、取れない。日本には浄水場
 処理場が整備されている。下水処理
 場で汚水を生まれ変わらせ、浄水場
 私たちへ口で与える水が完成するのだ。
 工程が安心して利用でき、水を作
 い、このため。現在、日本では、下
 率は八十%を誇る。世界的に見ても
 う、この数字は、私の住んでいる全
 は、水道法で定められた水質基準
 を超えた、八十六項目を調査して、
 う、この水は、二倍以上の純度を保
 質、水道水を利用することによって
 このよう、きれいな水を作り出し、
 は、浄水場がある。おかげで、こ

しく守る。下ろす水は、おかげだ
 者、父が浄水場でアルバイトをし
 二十四時間体制で水を管理してい
 た。どんなときにも自然と、か
 う、こころは、た、こころの、苦
 あるのだ。という、こころを、改
 へ、水道から出してくる水が、
 のに、感じられ、また。
 この、貴重な水を、得るため、
 こころ、こころ、こころ、こころ、
 へ、し、大事に、命が、勝
 こころ、こころ、こころ、こころ、
 今、私には、水の、入手が、困
 設、を作ると、か、資金を、送
 御、して、人々、のため、に、
 し、い。でも、せめて、きれいな
 た、こころ、こころ、こころ、こ
 用、て、せめて、もう、い、た、
 この、美しい、水を、つ、た、
 識、を持、て、い、き、たい。

感謝の気持ち忘れずに
若松三中 三年 船山 英
蛇口をひねると水が出る。それが当たり前前
だと思っていた。もちろん、今もそう思っ
ている。しかし、この素晴らしい日常は当
前ではなくなっている。私も幸せな事なんだと、実
感するところが多くなった。
二〇〇一年三月十一日。私は福島県民に
とって忘れられない日だ。この震災で生活
にも多くの支障が出た。その一つが「水」だ。
思うように水は出ない。トイレの水が流れな
い。水が思うように使えない。日々は不便
なものごとでも憂鬱であった。その時の私は
幼いながらも水を大切にしようと思った。
それから私の家は水への意識が変わり、日常
生活でも進んで節水をするようになったのだ。
ある日、私が祖母の元を訪ねたときのこと
だ。なぜか私は山へ連れて行かされた。いさ
なり祖父が何をい始めたかと思うと、山の
水くみ始めたのだ。私は衝撃でしかなく、
私は衝撃でしかなく、

私は「さ、
山のお水、を飲んでも大丈夫なの？
と祖父に聞いてしまった。しかし祖父は、
「山のの水は美味しいんだよ。自然の恵みをそ
のまま感じられるよ。」
と言ったのだ。思わぬ出来事だった。私は水と
いったら水道水やミネラルウォーターばかり
を想像していた。山の水は質も安全性の面でも
比べていえると思っていたからだ。しかし、祖
父に言われて気がついた。真の水とは山の天
然の水なんだと。その水を一口口にしたら、
祖父の言う通り自然の恵みを感じた気がした。
しかし、二ん付にも安心して自然の水を味
わえるほど幸せなことはないと思う。きこ
これは日本の水であるから私の心を動かした
に違いない。
これを象徴する例として、アフリカの水質
汚染などが挙げられるだろう。アフリカの
人は汚れた水を生活に利用しているため
日々の生活でも命を落とす方は少なくはない。

それと比べて我が国日本はどうだろう。きれ
 いな水を飲める日常、蛇口をひねるとおいし
 い水が出る。日本の水を飲み育ち、生きてい
 ける。改めて幸せだと思ひ知らされる。私は
 水を大切に生きてきたつもりだったが、もつと
 水をいためるべきだと実感させられた。
 日本の水は素晴らしい。質も、技術も、そ
 して安全性も。日本国民として胸を張って言
 える。そんな日本、水なら世界を救う力があ
 るのでは無いだろうか。世の中が困惑してい
 る今、日本の水で元氣付けようではないか。
 さつと世界中の人々にも届いてくれるはずだ。
 二〇二一年、東京オリムピックは、日本の
 おいしいう水でおもてなしをしたい。私はそう
 信じている。しかし、私達消費者にできる二
 つは限られているだろう。その中でも私達が
 今、できることは、日本の水を持続させ、
 維持させることだ。当たり前のように水を使
 えることに感謝して、無駄使いはしない、汚
 れた物を流さない、水で洗ったものを乾かすこ
 とは、あるにはあるが

ずだ。これから日本に、日本の水を伝承し
 ていくために、一人一人が水を知り、向
 き合うべきではないだろうか。日々の感謝を
 込めて。

■ 審査講評

「水道」に関して様々な視点から書かれていて、審査員からは「さすが中学生」という声が上がりました。少ない応募数ではありますが、どれも力作ぞろいで読みごたえがありました。

特に、水を現在だけのものと捉えずに、太古から地球の一部として価値あるものと位置づけている作品、また、水を擬人化して「思い」を想像し、人類とその文化を創造したと考える作品など、上位作品には、我々大人が想像もつかないような豊かな感性が感じられます。

身近な「水」に対して、深く広く考えて書かれた皆さんの表現力と、このコロナ禍にあっても静かに、そして確実に伸びている創造力に、心から感動しました。今後も様々な題材で発揮されることを期待しております。